

平成20年度事業報告

はじめに

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界同時不況の荒波は、わが国においても例外なく、経済、雇用状況に殊に深刻な影響を及ぼした。

そんな中、平成20年1月15日スタートした登記オンライン申請の特例方式は、当初予想された利用率を上回る成果をみたといえよう。会としてもその普及に研修等を通じた取組を行なったところである。

平成20年12月10日には、裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律、いわゆるADR法の規定に基づき、当会が設営する調停センターが第22号をもって法務大臣の認証を得た。

日本司法支援センター（法テラス）との連携関係の強化については、相談活動の充実を図るとともに、東京地方事務所との間で継続した協議を行った。

今後予想される司法書士法改正に向けて、その対応を集中して検討するため、二つの委員会を立ち上げ、具体的な作業を開始した。

本会は、平成20年度の事業計画の基本姿勢に基づき、職務整備改善の推進及び自治基盤を確立するため、社会状況に対応する事業を展開するとともに、司法書士の専門職能としての存在意義の確立を図るための諸施策と司法書士倫理の履践を目的とする諸事業を行ってきた。

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間の事業の概要を次に報告する。

I 対策部門

1 法改正対策

① 不動産登記法

特例方式によるオンライン申請普及に対処するため、速やかな情報の発信に努め、また法務局と協議する等その利便性の向上を図った。

② 会社法等

会社法および公益法人関連三法等に関して、会員の執務に対処するため各種研修を実施した。

③ 犯罪収益移転防止法

犯罪収益移転防止法および依頼者等の本人確認等に関する会則の理解向上を図った。

④ 司法書士法

当面する改正司法書士法の附帯決議の実現化を図るため、日本司法書士会連合会に対し関係機関に対しこれまで以上の働きかけを行うよう要望をした。

2 司法・司法書士制度対策

① 司法書士執務対策

○ 職務整備改善対策小理事会において、不動産登記の立会業務に関する規範規則の検討をした。

○ 職務倫理の確立のため、東京三弁護士会との協議会の中で情報収集をした。

② 特別研修

○ 第7回司法書士特別研修は、平成20年1月28日から同年3月2日までの間に実施され、本会会員39名を含む464名が受講し、上記研修の考査の結果101名（含第1・2・3・4・5・6回受講未認定者）が認定された。

○ 第8回司法書士特別研修は、平成21年1月29日から同年3月8日までの間に実施され、本会会員34名を含む464名が受講した。関東地区では、日本司法書士会連合会から選任された所員・地区委員5名及び関東ブロック支援委員11名を中心に運営責任者が上記研修期間中受講生及びチューターのサポートを行った。また、本会で36グループ中17グループのグループ研修を担当し、チューター19名で対応した。更に、本会理事を含む運営担当

者17名とチューター38名が法廷傍聴19グループの引率を行った。

③ 日本司法支援センターへの対応

日本司法支援センター（法テラス）への協力業務としては、「国選弁護」を除く、情報提供、法律扶助、相談、司法過疎、犯罪被害者支援等の業務が挙げられる。

当会としては下記事項に取り組んだ。

- (イ) 法テラスコールセンターより、司法書士電話相談センターに転送される電話相談者として、毎週月曜日～土曜日の間、2ブース分を当会が担当した。
- (ロ) 法テラス東京に対し、窓口対応専門職員として16名の会員を派遣した。
- (ハ) 法テラス東京に、相談員として会員20名を順次派遣した。
- (ニ) 法律扶助事業として、現在法テラス東京との契約司法書士として384名が登録され、審査委員として25名を派遣している。
- (ホ) 法テラス東京との協議会等を開催し、情報交換及び意見交換を行った。また、法テラス東京の執行部会（所長・副所長4名）に副所長として当会会員1名が委嘱され、企画・運営に参画した。
- (ヘ) 「法テラス新宿新事務所オープン記念多重債務無料法律相談会」の開催にあたり、共催・後援を行い相談員2名を派遣した。
- (ト) 法テラス東京地方協議会“法テラスに関する意見交換会”に4名出席した。
- (フ) 窓口対応専門職員・法テラス相談員・法律扶助審査委員との意見交換を行った。

④ 司法書士調停センターの運営

- 民事に関する紛争全般を扱う東京では唯一のADR（裁判外紛争解決手続）機関として法務大臣より認証を受けた。
- ADR促進法認証後は、対話促進型ADRに理解のある個別弁護士の協力を得て、事案検討会を行い、認証前調停申込件数13件、認証後調停申込件数8件について調停を実施した。
- 調停人養成のために、調停トレーニング1回を開催し、32名の参加を得た。また、調停管理者の役割などを理解いただくために手続実施者名簿搭載者向けに事例検討・実施手続説明会と調停管理者研修会を各1回行い、述べ69名の参加を得た。

⑤ 司法書士不在地域

- 奥多摩町及び檜原村における定期無料相談会を三多摩支会の協力を得て実施した。
- 司法書士不在地域における市民を対象として、フリーダイヤルを利用した電話相談を実施した。
- 日本司法書士会連合会の司法過疎地開業支援事業に協力した。
- 島嶼地域において、巡回法律相談を実施している団体に対して活動の支援をした。

⑥ 非司法書士活動の防止

- 悪質な非司法書士活動をした者に対して、告発の準備を行った。
- 非司法書士活動に関する情報収集及び調査を行った。
- 新聞やホームページ等の広告媒体を使用して、非司法書士活動を公然と掲げ、依頼者を誘致する団体又は個人に対し、調査検討の上、12件（内7件が都内行政書士事務所）につき、警告文を発送した。
- 東京都行政書士会との協議会を行い、非司法書士行為に対する指導等の協議及び意見交換を行った。

⑦ 危機管理対策

- 大規模災害が発生したときを想定した「災害時危機管理訓練」を、本塩町会・日司連・関連四団体・支部長・四谷消防署等の協力を得て実施した。災害時の危機管理対策本部の運営シミュレーションを行い、災害時伝言ダイヤルの使用方法を学び、防災用品を点検して実際に使用することで問題点を整理し、会館における危機管理対策について検討した。

- 消防訓練を本塩町会・日司連・関連四団体・四谷消防署等の協力を得て実施し、避難訓練及び消火器・消火栓の方法、AED（自動体外式除細動器）の使用方法の習得をした。

⑧ 司法書士市民救援基金の運用状況

今期、会員より援助申込は無く、援助実施は無し。

⑨ 民事介入暴力への対応

- 民事介入暴力対策委員会において、会員向け「民事介入暴力対策の手引」を作成し、会員、各司法書士会及び日司連に配布した。
- 同手引を、購入申込があった他の司法書士会に頒布した。
- 同委員会において、会員から民事介入暴力に関する相談があった場合の対応スキームについて検討した。

⑩ 多重債務問題への対応

- 東京都の要請により、東京都多重債務問題対策協議会へ本会理事を派遣し、他の民間団体や市区町村等と多重債務問題の解決について協議を重ね、相互連携強化充実を図った。
- 東京都が9月4日と5日に消費生活総合センター（飯田橋）と東大和市市民・消費生活係で行った「多重債務110番」及び3月9日と10日に消費生活総合センター（飯田橋）、千代田区消費者相談室、武蔵野市消費生活センター、青梅市消費者相談室で行った「多重債務110番」へ相談員を派遣した。
- 東京地方裁判所に対し、本人申立による自己破産手続の改善を要望した。
- 利息制限法と適正金利について、消費者法等改正検討委員会の企画により下記シンポジウムを開催し、適正金利について検討を行った。

- ・テーマ = 「利息制限法と適正金利を考える」
～多重債務ゼロの街をめざして～
- ・日時 = 平成20年10月25日(土) 午後1時～5時
- ・場所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・講師・パネリスト = 荏原 正道 氏（弁護士）
柴田 武男 氏（聖学院大学教授）
柴田 昌彦 氏（税理士）
岡林 幸伸 氏（千葉大学教授）
- ・コーディネーター = 及川 智志 氏（弁護士）
- ・パネリスト = 菊池 雅都 会員（世田谷支部／消費者法等改正検討委員会委員長）

- 多重債務にも関わる貧困問題について、多重債務問題対策委員会の企画により下記シンポジウムを開催した。

- ・テーマ = 「貧困と法～貧困問題に法はどう関わられるか～」
- ・日時 = 平成20年12月14日(日) 午後2時～5時
- ・場所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・講師・パネリスト = 湯浅 誠 氏（反貧困ネットワーク事務局長、NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長ほか）
- ・コーディネーター = 野口雅人 会員（豊島支部／多重債務問題対策委員会委員長）
- ・パネリスト = 本多 良男 氏（全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会事務局長、金融庁多重債務者対策本部有識者会議構成員）
力丸 寛 会員（新宿支部／多重債務問題対策委員会委員）

- 東京都との共催により下記のとおりヤミ金融被害防止合同キャンペーンを行った

- ・日時 = 平成20年11月5日(火) 午後1時30分～5時
平成20年11月6日(水) 午前11時～5時
- ・場所 = 新宿西口イベントコーナー及び新宿駅西口駅頭

- ・日 時 平成21年3月5日(木) 午後0時～4時
平成21年3月6日(金) 午後0時～4時
- ・場 所 池袋駅東口グリーン大通り・60階通り・サンシャイン通り
豊島区立中池袋公園

⑪ 消費者問題への対応

- 改正割賦販売法・特定商取引法について消費者法等改正検討委員会の企画により下記シンポジウムを開催した。
 - ・テーマ = 「改正割賦販売法・特定商取引法～消費者被害ゼロの街を目指して」
 - ・日 時 = 平成21年3月28日(土) 午後1時～5時
 - ・場 所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
 - ・講師 = 木村 茂樹 氏(内閣官房消費者行政一元化準備室参事官)
山田 茂樹 氏(司法書士 静岡県司法書士会)
 - ・コーディネーター = 菊池 雅都 会員(世田谷支部/消費者法等改正検討委員会委員長)
 - ・パネリスト = 拝師 徳彦 氏(弁護士、日本弁護士連合会消費者行政一元化推進本部事務局次長、消費者主役の割賦販売法改正実現全国会議事務局長、ユニカねっと(消費者主役の新行政組織実現全国会議)事務局長ほか)
原 早苗 氏(金融オンブズネット代表、TOKYO消費者行政充実ねっと代表幹事)
唯根 妙子 氏((社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任理事消費者相談室長、TOKYO消費者行政充実ねっと常任幹事)
村上 美和子 氏(調布支部/東京司法書士会理事)
- 脅迫的な架空請求に対する注意喚起、特定商取引法の解説を外部向けホームページへ掲載した。
- 現行消費者契約法の論点についてスーパーネットへ掲載した。
- 割賦販売法・特定商取引法改正や消費者行政一元化による新組織設立に伴う情報収集を目的に審議会等へ参加した。

⑫ 高齢者の権利擁護への対応

- 社会福祉協議会と地域包括支援センターへ高齢者虐待や高齢者の消費者被害への取組についてアンケートを実施した。
- 地域包括支援事業対策委員会だよりを外部向けホームページへ掲載した。
- 高齢者の消費者被害・経済的虐待について消費者問題対策委員会と地域包括支援事業対策委員会との合同企画により下記シンポジウムを開催した。
 - ・テーマ = 「手をつなごう！高齢者が安心して暮らすために」
 - ・日 時 = 平成20年11月15日(土) 午後1時30分～5時
 - ・場 所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
 - ・講師・パネリスト = 坂本 博文 氏(東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課長)
 - ・講 師 = 渡邊 経子 会員(豊島支部/消費者問題対策委員会副委員長)
 - ・コーディネーター = 大富 直輝 会員(新宿支部/消費者問題対策委員会委員長)
 - ・パネリスト = 秦野 昭子 氏(東京都消費生活総合センター高齢者支援グループ相談員)
樋口 裕子 会員(墨田・江東支部/地域包括支援事業対策委員会委員長)

3 組織改善対策

① 組織改善対策

- 組織改善検討委員会を組成し、次の点を検討し審議結果を報告した。

- (イ) 本会執行部における組織運営の現状を踏まえ常任理事会の組織および役割等を検討した。
- (ロ) 注意勧告小理事会の現状および組織について検討した。

② 情報公開

- 外部向けホームページの内容についてリニューアルを行った。
- 本会情報公開に関する規則に基づき、外部向けホームページ上に、会則・役員名簿のほか、定時総会で承認された事業報告・財務諸表・事業計画・収支予算書等を公開し、会員情報について会員の検索システムを公開した。
- 本会懲戒処分等の公表に関する規則に基づき、外部向けホームページ上に、会員に対する懲戒処分を公表した。

③ 個人情報保護

個人情報保護方針並びに個人情報保護規程に基づき、個人情報の適正な管理を継続した。

4 成年後見制度への対応

成年後見センター・リーガルサポート東京支部と共催し、成年後見制度の普及に向けた諸活動を行った。

5 登記所統廃合

目黒および島嶼の出張所の登記所統廃合に関する情報収集ならびに要請・協議等を関係機関と行った。また、その他の登記所の統廃合についても情報収集を継続的に行った。

6 オンライン申請推進対策

オンライン申請推進対策委員会において、次の点を検討した。

- (イ) オンライン申請に関する各支部のセミナー開催への費用の援助を検討した。
- (ロ) 法務省オンライン申請システムに関する、会員からの情報提供をスーパーネット上にて収集する方法について検討した。

II 執務指導部門

- 依頼者からの苦情・情報提供（合計 58 件）、東京法務局からの調査委嘱・情報提供（合計 7 件）に対し、苦情申立人、会員等関係者から事情聴取し、検討の上、30 件につき、綱紀委員会に調査を委嘱した。
- 5 件につき会長指導を行った。
- 8 件につき注意・勧告を行った。
- 17 件の紛議調停の申立があり、13 件につき紛議調停委員会に調停を委嘱した。

III 研究部門

1 研究結果についての報告

- 本人訴訟支援研究委員会の企画により、裁判所において司法書士が本人訴訟を支援することについてアンケートの実施を行い、その結果を踏まえて金銭請求事件（クレサラ関係事件を除く）を題材とした事件の相談・受託、保全手続から訴訟の提起、強制執行までの具体的事例と質疑応答による下記研修会を開催した。また、この模様をまとめた冊子を作成して会員へ配布した。
・テ - マ = 「金銭請求事件（クレサラ関係事件を除く）」

- ・日 時 = 平成20年11月22日(土) 午前10時～午後5時
- ・場 所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・講師・アドバイザー = 松永 六郎 会員 (大田支部)
- ・コーディネーター = 小山 弘 会員 (霞が関支部、本人訴訟支援研究委員会委員長)
 蜷川 樹 会員 (豊島 支部、本人訴訟支援研究委員会副委員長)
- ・アドバイザー = 松永 六郎 会員 (大 田 支部)
 野中 政志 会員 (渋谷 支部)
 羽野 利也 会員 (八王子 支部)
 山中眞一郎 会員 (青 梅 支部)
 村田 君代 会員 (渋谷支部／本人訴訟支援研究委員会)

- 高齢者が当事者となる不動産取引等における問題点とその対応について検討を行い、業務について注意喚起を促した。

- 2 登記実務協議会の実施
 次年度の協議会における協議事項を確定した。

IV 研 修 部 門

平成20年度研修事業計画に基づき、研修部・総合研修所において、利用者国民からの期待に応え得る職能としてのリーガルマインドと識見を涵養するため、研修事業を遂行した。また、これを遂行するにあたっては、総合研修所各室が相互に協力し、対応した。

なお、本会では、日司連の「司法書士研修制度基本要綱」による単位制研修の趣旨・理念に基づき、会員及び入会予定者を中心に研修事業を実施した（66頁参照）。

1 合同研修

① 判例・先例研究

本年度も例年どおり年2回開催した。第1回目では、司法書士の職域拡大、その役割や期待の高度化に伴い、それと裏腹に司法書士に対する紛争も増えることが予測されるため、司法書士と弁護士との民事責任に関する判例を取り上げた。第2回目では、今後さまざまな局面において接する機会が増加するであろう高齢者の不動産取引に関して意思能力が問題となった裁判例、また、公正証書遺言における遺言能力が問題となった裁判例を取り上げた。

* 第1回判例・先例研究会 [研修単位 = 3単位]

- ・テ - マ = 「司法書士の専門家責任（民事責任）」
 ～訴訟代理人としての責任（和解業務）を中心に～
- ・日 時 = 平成20年9月1日（月）午後5時45分～午後8時45分
- ・場 所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・特別講師 = 水戸地方裁判所長、判事 加藤 新太郎 先生
- ・研究発表者 = 田無支部 堀江 泰夫 会員
- ・参加者 = 125名（本会会員118名）
- ・参加費 = 1,000円

* 第2回判例・先例研究会 [研修単位 = 3単位]

- ・テ - マ = 「法律行為に必要な意思能力」
- ・日 時 = 平成21年1月30日（金）午後5時45分～午後8時45分
- ・場 所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・特別講師 = 弁護士 升田 純 先生
- ・研究発表者 = 立川支部 佐々木 大介 会員
- ・参加者 = 194名（本会会員187名）

・参加費 = 1,000円

* 研究の成果は、判例・先例研究叢書（平成20年度版）として刊行した。

・発行部数 = 3,700部

・配布先 = 会員、友好団体、大学図書館等

② 専門研修

本年度は、広がりつつある司法書士業務への対応を視野に入れて、幅広い分野からテーマを選び研修会を実施した。

* 第1回専門研修会 [研修単位 = 3単位]

・テーマ = 「会社分割 - 基礎から応用まで」

・日時 = 平成20年7月23日（水）午後6時～午後9時

・場所 = 日本教育会館3・4階「一ツ橋ホール」

・講師 = 千代田支部 金子 登志雄 会員

・参加者 = 475名（本会会員372名、補助者103名）

・参加費 = 1,000円

* 第2回専門研修会 [研修単位 = 3単位]

・テーマ = 「司法書士と弁護士、行政書士との間の職域についての憲法問題」

・日時 = 平成20年9月24日（水）午後5時45分～午後8時45分

・場所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」

・講師 = 筑波大学法科大学院教授 青柳 幸一 先生

・参加者 = 73名（本会会員59名、補助者2名、他会会員12名）

・参加費 = 1,000円

* 第3回専門研修会 [研修単位 = 3単位]

・テーマ = 「福祉信託・遺言信託」

・日時 = 平成20年10月21日（火）午後6時～午後9時

・場所 = 日本教育会館8階「第一会議室」

・講師 = 弁護士 赤沼 康弘 先生

・参加者 = 179名（本会会員166名、補助者9名、他会会員4名）

・参加費 = 1,000円

* 第4回専門研修会 [研修単位 = 3単位]

・テーマ = 「民事訴訟における事実認定の基本問題」

～裁判官の事実認定・心証形成の過程を考える～

・日時 = 平成20年11月12日（水）午後5時45分～午後8時45分

・場所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」

・講師 = 創価大学法科大学院客員教授、法科大学院要件事実教育研究所長
伊藤 滋夫 先生

・参加者 = 139名（本会会員133名、補助者6名）

・参加費 = 1,000円

* 第5回専門研修会 [研修単位 = 3単位]

・テーマ = 「遺言執行について」

・日時 = 平成21年2月10日（火）午後6時～午後9時

・場所 = 日本教育会館8階「第一・第二会議室」

・講師 = 弁護士 相原 佳子 先生

・参加者 = 469名（本会会員446名、補助者23名）

・参加費 = 1,000円

③ 支部ブロック研修会等への支援

会員研修の機会を数多く設けるために、支部ブロックの自主的研修に助力、支援した(研修科目、講師等の詳細は65頁参照)。

2 グループ・個別研修

支部セミナー

会員の資質・向上の場として、各支部の自主性に基づき、積極的な支部セミナーの開催を要請し、支援した(各支部セミナーの開催状況は62頁～64頁参照)。

3 新人研修

① 新人研修会

司法書士としての倫理と規律とが厳しく要求される中で、職責の重要性を認識し、法律専門職としての自覚の下に、それにふさわしい能力と見識を高め、実務の経験則を学び、実践することを目的とした新人研修会を開催した。

なお、同研修会の一環として、東京法務局、東京地方裁判所の見学を実施した。

- ・場 所 = ベルサール神田3階会議室「ROOM1～4」
- ・参加者 = 232名(平成20年度司法書士試験合格者ほか)
- ・受講料 = 33,000円(教材費含む。)
- ・教材 = 各研修科目のレジュメ及び資料は、総1,117頁を3分冊にして配布した。

[開講式・第1回]平成20年12月2日(火)午後6時～午後9時

- ・講義内容 = (1) 倫理・綱紀
(2) 職務上請求書と本人確認
- ・講師 = (1) 豊島支部 石川 雅敏 会員
(2) 港支部 柏戸 茂 会員

[第2回]平成20年12月8日(月)午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 不動産登記の実務①(売買等の相談と登記)
- ・講師 = 台東支部 菅原 誠 会員

[第3回]平成20年12月10日(水)午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 不動産登記の実務②(抵当権等債権保全の相談と登記)
- ・講師 = 豊島支部 濱 智幸 会員

[第4回]平成20年12月12日(金)午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 不動産登記の実務③(相続の相談と登記)
- ・講師 = 新宿支部 萩原 孝子 会員

[第5回]平成20年12月13日(土)午前9時30分～12時30分

- ・講義内容 = 不動産登記の実務④(1) 表示登記の基礎知識
(2) 税金の基礎知識
- ・講師 = (1) 豊島支部 川村 兼司 会員
(2) 千代田支部 市橋 正造 会員

[第6回]平成20年12月13日(土)午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 実務アラカルト(1) 相談の受け方
(2) 開業体験談
- ・講師 = (1) 文京支部 久我 祐司 会員

(2) 新人研修室員

[第7回] 平成20年12月15日(月) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 商業登記の実務①(設立と各種変更)
- ・講師 = 墨田・江東支部 高橋 聡英 会員

[第8回] 平成20年12月17日(水) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 商業登記の実務②(増減資・新株予約権)
- ・講師 = 田無支部 田口 真一郎 会員

[第9回] 平成20年12月19日(金) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 商業登記の実務③(公益法人制度改革と登記実務)
- ・講師 = 文京支部 久我 祐司 会員

[第10回] 平成20年12月20日(土) 午前9時30分～12時30分

- ・講義内容 = クレジット・サラ金問題の相談と実務
- ・講師 = 文京支部 安藤 剛史 会員
豊島支部 野口 雅人 会員

[第11回] 平成20年12月20日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 成年後見・家事審判の実務
- ・講師 = 田無支部 山崎 政俊 会員
豊島支部 井藤 智子 会員

[閉講式(修了証書授与式)、懇親会] 平成20年12月22日(月) 午後6時～

② 配属研修

平成19年度新人研修会の修了者を対象に、組成された配属研修講師団の会員事務所において、研修希望者15名の配属研修を実施した。

4 裁判事務研修

① 民事裁判実務研修I [全4回:研修単位 = 第1・2回 3単位、第3・4回 4単位]

裁判実務に関する基礎的な知識の習得のため、次のとおり研修を行った。

また、服部大三・玉木一成両弁護士が司法書士の裁判能力向上のため、20年もの長きにわたりその類い希なる情熱と能力を注いでくださったことに感謝する場を設けた。

- ・会場 = 第1・2・4回:司法書士会館地下1階「日司連ホール」
第3回:全水道会館「大会議室」
- ・参加者 = 51名(本会会員27名、補助者1名、他会会員23名)
- ・受講料 = 本会会員15,000円
補助者、他会会員18,000円

[第1回] 平成20年 9月 6日(土) 午前10時～午後1時

- ・講義内容 = 「建物明渡請求事件(訴状および答弁書)」
- ・講師 = 弁護士 服部 大三 先生

[第2回] 平成20年 9月 27日(土) 午前10時～午後1時

- ・講義内容 = 「建物明渡請求に対する準備書面」
- ・講師 = 弁護士 服部 大三 先生

[第3回] 平成20年10月26日(土) 午後1時～午後5時

- ・講義内容 = 「グループ事情聴取 不法行為による損害賠償請求の訴状作成」
- ・講師 = 弁護士 服部 大三 先生
 弁護士 玉木 一成 先生

[第4回] 平成20年11月29日(土) 午後1時～午後5時

- ・講義内容 = 「グループ事情聴取 不法行為による損害賠償請求の原告準備書面作成」
- ・講師 = 弁護士 服部 大三 先生
 弁護士 玉木 一成 先生

* 裁判事務学校開設20周年を祝う会

- ・日時 = 平成20年11月29日(土) 午後5時30分～午後8時30分
- ・場所 = 主婦会館プラザエフ9階「スズラン」
- ・参加者 = 弁護士 服部 大三 先生、玉木 一成 先生
 本会会員39名

② 民事裁判実務研修Ⅱ [全4回：研修単位 = 各回3単位]

訴訟物論・要件事実論を中心とした、民事訴訟の基礎理論習得のため次のとおり研修を行った。

- ・会場 = 第1回：全理連ビル9階「BC会議室」
 第2・3・4回：司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・参加者 = 87名(本会会員48名、補助者1名、他会会員38名)
- ・受講料 = 本会会員 15,000円
 補助者、他会会員 18,000円

[第1回] 平成20年 8月 9日(土) 午後1時45分～午後5時

- ・講義内容 = 実務民事裁判の基礎
- ・講師 = 水戸地方裁判所長、判事 加藤 新太郎 先生

[第2回] 平成20年 9月 6日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = (1) 貸金請求訴訟の攻撃防御の構造
 (2) 請負代金請求訴訟の攻撃防御の構造
- ・講師 = 東京地方裁判所 判事 高橋 伸幸 先生

[第3回] 平成20年 9月 27日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = (1) 賃貸借終了に伴う建物明渡請求訴訟の攻撃防御の構造
 (2) 所有権に基づく建物明渡請求訴訟の攻撃防御の構造
- ・講師 = 東京地方裁判所 判事 寺本 昌広 先生

[第4回] 平成20年11月 8日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = (1) 不動産登記手続請求訴訟の攻撃防御の構造
 (2) 損害賠償請求訴訟(交通事故を除く)の攻撃防御の構造
- ・講師 = 東京地方裁判所 判事 梅本 圭一郎 先生

③ 民事裁判実務研修Ⅲ [全4回：研修単位 = 1～3回 3単位、4回 4単位]

簡裁訴訟代理関係業務認定会員を対象に、訴訟代理に必要な知識及び心構えについて、次のとおり研修を行った。

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・受講料 = 本会会員 15,000円
 補助者、他会会員 18,000円

・参加者 = 89名 (本会会員52名、補助者3名、他会会員34名)

[第1回] 平成20年12月13日(土) 午後1時45分～午後5時

- ・講義内容 = 「簡易裁判所における民事事件の審理と認定司法書士の訴訟活動」
- ・講師 = 東京簡易裁判所判事 田中 孝明 先生
東京簡易裁判所判事 大山 涼一郎 先生

[第2回] 平成21年 1月24日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「和解に関する心構え～事情聴取から交渉、和解書作成まで～」
- ・講師 = 弁護士 服部 大三 先生

[第3回] 平成21年 2月 7日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「具体的事件における立証活動」「損害額の考え方」
- ・講師 = 弁護士 玉木 一成 先生

[第4回] 平成21年 2月28日(土) 午後1時～午後5時

- ・講義内容 = 「民事裁判研修室企画講座 模擬和解－和解交渉技術を学ぶ－」
- ・講師 = 弁護士 服部 大三 先生
弁護士 玉木 一成 先生

④ 刑事裁判実務研修 [全4回：研修単位 = 各回3単位]

刑事訴訟法の全般的な流れを中心として、次のとおり研修を行った。

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・参加者 = 32名 (本会会員17名、補助者2名、他会会員13名)
- ・受講料 = 本会会員 12,000円
補助者、他会会員 15,000円

[第1回] 平成20年 7月26日(土) 午後1時45分～午後5時

- ・講義内容 = 「捜査・公判手続および裁判員制度について」
- ・講師 = 法務省法務総合研究所教官、検事 森田 邦郎 先生

[第2回] 平成20年 7月27日(日) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「刑事訴訟法について(証拠法を中心として)」
- ・講師 = 元検事正、元公証人、弁護士 板山 隆重 先生

[第3回] 平成20年 8月 3日(日) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「刑事裁判の実情について(執行猶予事件を中心として)」
- ・講師 = 元第二東京弁護士会会長、弁護士 斎藤 浩二 先生

[第4回] 平成20年 9月 7日(日) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「刑事事件捜査について」
- ・講師 = 元京都地方検察庁検事正、丸の内公証役場公証人
帝京大学法学部教授、東京公証人会・広報委員長 五島 幸雄 先生

⑤ クレサラ研修 [全5回：研修単位 = 各回3単位]

重大な社会問題となっているクレサラ問題について、次のとおり研修を行った。

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・参加者 = 145名 (本会会員96名、補助者5名、他会会員44名)
- ・受講料 = 本会会員 15,000円

補助者、他会会員 18,000円

[第1回] 平成20年12月20日(土) 午後1時45分～午後5時

- ・講義内容 = 「債務整理と生活保護」
- ・講師 = 弁護士 森川 清 先生

[第2回] 平成21年 1月10日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「任意整理及び過払い金返還訴訟の実務」
- ・講師 = 弁護士 岩重 佳治 先生

[第3回] 平成21年 2月14日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「クレジット過剰与信問題、改正割賦販売法及び改正特定商取引法について」
- ・講師 = 弁護士 拝師 徳彦 先生

[第4回] 平成21年 2月21日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「破産手続」
- ・講師 = 調布支部 村上 美和子 会員

[第5回] 平成21年 3月 7日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「個人再生手続」
- ・講師 = 豊島支部 野口 雅人 会員

5 商事法務・企業法務研修

① 商事法務研修会 [全6回: 研修単位 = 各回3単位]

商事法務の専門家として、実体法、手続法の実務に精通するため複数回の連続講義形式を採用し、商事法務実務全般の修得を目指して次のとおり開催した。

- ・会場 = 第1回: ベルサール飯田橋 1階「ホール」
第2・5回: ベルサール神田 3階「ROOM1～4」
第3・4・6回: 日本教育会館8階「第一会議室」
- ・参加者 = 295名(本会会員204名、補助者30名、他会会員61名)
- ・受講料 = 本会会員 18,000円
補助者、他会会員 20,000円

[第1回] 平成20年 9月17日(水) 午後5時50分～午後9時

- ・講義内容 = 会社法・法人の設立「株式会社・LLP・LLC・SPC・LPC等」
- ・講師 = 弁護士 石塚 洋之 先生

[第2回] 平成20年10月15日(水) 午後6時30分～午後9時30分

- ・講義内容 = 経営の仕組「定款の規定・議事録の実務上の注意事項・株主総会の運営」
- ・講師 = 弁護士 松山 遙 先生

[第3回] 平成20年11月 5日(水) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 株式「種類株式・募集株式の発行・株式の消却」
- ・講師 = 弁護士 棚橋 元 先生

[第4回] 平成20年11月26日(水) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 新株予約権「新株予約権の発行・変更・消却」
- ・講師 = 弁護士 澤口 実 先生

[第5回] 平成21年 1月21日(水) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 組織再編「合併・会社分割」
- ・講師 = 弁護士 村瀬 孝子 先生

[第6回] 平成21年 2月18日(水) 午後6時～午後9時

- ・講義内容 = 会社の消滅「解散・破産・再生・更生」
- ・講師 = 弁護士 権田 修一 先生

② 企業法務研修会 [全6回：研修単位 = 各回3単位]

企業法務の専門家として、実体法、手続法の実務に精通するため複数回の連続講義形式を採用し、企業法務実務全般の修得を目指して次のとおり開催した。

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・参加者 = 154名(本会会員117名、補助者7名、他会会員30名)
- ・受講料 = 本会会員 18,000円
補助者、他会会員 20,000円

[第1回] 平成20年10月 7日(火) 午後5時50分～午後8時50分

- ・講義内容 = 「企業法務総論」
- ・講師 = 慶應義塾大学法科大学院教授、弁護士 菅原 貴与志 先生

[第2回] 平成20年11月14日(金) 午後5時50分～午後8時50分

- ・講義内容 = 「契約書等の作成の実務」
- ・講師 = 弁護士 田路 至弘 先生

[第3回] 平成20年12月 1日(月) 午後5時50分～午後8時50分

- ・講義内容 = 「債権管理・保全・回収」
- ・講師 = 双日株式会社 法務部 国内法務課 課長 佐藤 崇 先生

[第4回] 平成21年 1月29日(木) 午後5時50分～午後8時50分

- ・講義内容 = 「中小企業の再建・再生」
- ・講師 = 企業再建コンサルタント 川野 雅之 先生

[第5回] 平成21年 2月17日(火) 午後5時50分～午後8時50分

- ・講義内容 = 「コンプライアンス・内部統制」
- ・講師 = 桐蔭横浜大学法科大学院教授、弁護士 郷原 信郎 先生

[第6回] 平成21年 3月 2日(月) 午後5時50分～午後8時50分

- ・講義内容 = 「事業(企業)承継」
- ・講師 = 弁護士 野村 修也 先生

③ 商事法務・企業法務研修会公開講座

商事法務・企業法務に携わる法律実務家として、実務上における問題点および会社法・商業登記法における論点を対比、探究し、実務に精通するための公開講座を、次のとおり開催した。

(1) 商事法務研修会公開講座 [研修単位 = 3単位]

- ・テーマ = 公益法人制度改革関連3法の解説と一般社団法人の設立手続き
～ 一般社団法人の各事業に即した定款の文例を中心として ～
- ・日時 = 平成20年11月17日(月) 午後6時～午後9時
- ・場所 = 日本教育会館3・4階「一ツ橋ホール」
- ・講師 = 商業登記倶楽部代表理事・主宰者
桐蔭横浜大学法学部客員教授 神崎 満治郎 先生

- ・参加者 = 622名 (本会会員480名、補助者81名、他会会員61名)
- ・参加費 = 1,000円

(2) 企業法務研修会公開講座 [研修単位 = 3単位]

- ・テーマ = 「司法書士のための定款自治と企業統治」
- ・日時 = 平成20年11月7日(金) 午後6時～午後9時
- ・場所 = 日本教育会館3・4階「一ツ橋ホール」
- ・講師 = 早稲田大学大学院法務研究科教授 江頭 憲治郎 先生
- ・参加者 = 324名 (本会会員244名、補助者43名、他会会員37名)
- ・参加費 = 1,000円

6 家事・少年事件研修 [全5回：研修単位 = 各回3単位]

家庭裁判所における家事・少年事件についての実務に精通するため、複数回の連続講義形式を採用し、次のとおり開催した。

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・参加者 = 208名 (本会会員112名、補助者2名、他会会員94名)
- ・受講料 = 本会会員 15,000円、
補助者、他会会員 18,000円

[第1回] 平成21年 1月17日(土) 午前9時45分～午後1時

- ・講義内容 = 「家事審判法概説」
「共同相続財産に相続人の一人が占有する場合の法律関係」
- ・講師 = 慶應義塾大学法科大学院教授、弁護士 岡部 喜代子 先生

[第2回] 平成21年 2月7日(土) 午前10時～午後1時

- ・講義内容 = 「不在者の財産管理と相続財産管理の実務」
- ・講師 = 弁護士 赤沼 康弘 先生

[第3回] 平成21年 2月14日(土) 午前10時～午後1時

- ・講義内容 = 「遺言に伴う諸問題」
- ・講師 = 銀座公証役場 公証人 北野 俊光 先生

[第4回] 平成21年 2月21日(土) 午前10時～午後1時

- ・講義内容 = 「遺留分に伴う諸問題」
- ・講師 = 東京家庭裁判所判事 片岡 武 先生

[第5回] 平成21年 2月28日(土) 午前10時～午後1時

- ・講義内容 = 「涉外家事事件－離婚および親権の諸問題－」
- ・講師 = 東京家庭裁判所八王子支部判事 水野 有子 先生

7 民事保全・執行手続研修 [全4回：研修単位 = 各回3単位]

民事執行手続及び保全手続についての実務に精通するため、複数回の連続講義形式を採用し、次のとおり開催した。

- ・会場 = 第1・2回：司法書士会館地下1階「日司連ホール」
第3・4回：全水道会館「大会議室」
- ・参加者 = 110名 (本会会員71名、補助者0名、他会会員39名)
- ・受講料 = 本会会員 12,000円、
補助者、他会会員 15,000円

[第1回] 平成20年10月11日(土) 午前9時45分～午後1時

- ・講義内容 = 「債権執行手続」
- ・講師 = 東京地方裁判所主任書記官 乗本 達夫 先生

[第2回] 平成20年10月11日(土) 午後2時～午後5時

- ・講義内容 = 「民事保全手続」
- ・講師 = 東京地方裁判所判事補 村田 千香子 先生

[第3回] 平成20年10月18日(土) 午前9時45分～12時45分

- ・講義内容 = 「執行官による執行手続」
- ・講師 = 東京地方裁判所執行官 宮本 英一 先生

[第4回] 平成20年10月18日(土) 午後1時45分～午後4時45分

- ・講義内容 = 「民事保全・執行手続全般」
- ・講師 = 弁護士 木津川 迪洽 先生

8 成年後見研修

成年後見制度への国民の要望は増大しており、家庭裁判所からも多くの就任要請がきていることから、後見人の養成は急務である。後見人の職務を担う人材の育成及び資質の向上を目指して、(社)成年後見センター・リーガルサポート東京支部との共催にて、成年後見人セミナーを実施した。

① 成年後見人初心者用セミナー [全4回：研修単位 = 1科目につき1.5単位]

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・受講料 = 1科目につき1,000円

[第1回] 平成20年 7月 5日(土) 午前11時～午後4時45分

- ・講義内容 = (1) 法定後見等の相談、申立と審判前の保全処分について
(2) 成年後見人の実務について
(3) 知っておきたい各種公的制度の活用について
- ・講師 = (1) 佐藤 崇 会員 (リーガルサポート東京支部)
(2) 辻井 宏 会員 (リーガルサポート東京支部)
(3) 藤田 雅夫 会員 (リーガルサポート東京支部)

[第2回] 平成20年 7月 6日(日) 午前11時～午後4時45分

- ・講義内容 = (1) 任意後見契約の相談・契約の仕方
(2) 任意後見人の実務について
(3) 後見人等の倫理と問題事例
- ・講師 = (1) 川口 純一 会員 (リーガルサポート東京支部)
(2) 山崎 政俊 会員 (リーガルサポート東京支部)
(3) 松井 秀樹 会員 (リーガルサポート本部)

[第3回] 平成20年 7月12日(土) 午前11時～午後4時45分

- ・講義内容 = (1) 執務報告の仕方・報酬付与の申立・地区担当者の役割等
(2) 保佐人・補助人の実務について
(3) 認知症の理解
- ・講師 = (1) 松前 章代 会員 (リーガルサポート東京支部)
(2) 菱田徳太郎 会員 (リーガルサポート東京支部)
(3) 医療法人社団こだま会 こだまクリニック院長 木之下 徹 先生

[第4回] 平成20年 7月13日(日) 午前11時～午後4時45分

- ・講義内容 = (1) 本人死後の事務について
(2) 知的障がい者の理解
(3) 精神障がい者の理解
- ・講師 = (1) 矢頭 範之 会員(リーガルサポート東京支部)
(2) 社会福祉法人東京都知的障害者育成会 青年期相談室
室長 白井 俊子 先生
(3) 田園調布学園大学人間福祉学部准教授 伊藤 秀幸 先生

② 成年後見人経験者用セミナー [全4回: 研修単位 = 1科目につき1.5単位]

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・受講料 = 1科目につき1,000円

[第1回] 平成20年10月24日(金) 午後5時30分～午後8時40分

- ・講義内容 = (1) 後見等実務における疑問点を考える
(2) 医療の同意について
- ・講師 = (1) 山崎 政俊 会員(リーガルサポート東京支部)
(2) 藤江 美保 会員(リーガルサポート本部)

[第2回] 平成20年11月 6日(木) 午後5時30分～午後8時40分

- ・講義内容 = (1) 身体拘束について(身体拘束ゼロへの挑戦)
(2) 施設における虐待について
- ・講師 = (1) 医療法人充会 上川病院 理事長 吉岡 充 先生
(2) 弁護士 滝沢 香 先生

[第3回] 平成20年11月20日(木) 午後5時30分～午後8時40分

- ・講義内容 = (1) 後見人等の倫理と問題事例
(2) 年金の種類と知っておきたい年金の知識
- ・講師 = (1) 前田 稔 会員(リーガルサポート本部)
(2) 社会保険労務士 高伊 茂 先生

[第4回] 平成20年12月 3日(水) 午後5時30分～午後8時40分

- ・講義内容 = (1) 高次脳機能障害について
(2) 後見等の報告および専門職後見人等に望むもの
- ・講師 = (1) 東洋英和女学院大学教授 石渡 和実 先生
(2) 東京家庭裁判所書記官 小林 圭一 先生

③ 成年後見専門研修会 [研修単位 = 1科目につき1.5単位]

- ・会場 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・受講料 = 1科目につき1,500円
- ・日程 = 平成21年 2月20日(金) 午後5時30分～午後8時40分
- ・講義内容 = (1) 今回発覚した不祥事について
(2) 後見人等の倫理と問題事例について
- ・講師 = (1) 松井 秀樹 会員(リーガルサポート本部)
(2) 矢頭 範之 会員(リーガルサポート東京支部)

① 民事法律扶助に関する研修会 [研修単位 = 2単位]

- ・テーマ = 民事法律扶助に関する研修
- ・日時 = 平成21年2月2日(月) 午後6時～午後8時
- ・場所 = 司法書士会館地下1階「日司連ホール」
- ・講師 = 日本司法支援センター東京地方事務所(法テラス東京)
副所長 弁護士 亀井 時子 先生
副所長 司法書士 今野 健雄 会員(霞が関支部)
業務部長 上村 正人 先生
- ・参加者 = 118名(本会会員115名、補助者3名)
- ・参加費 = 無料

② 年次制研修

平成20年度日司連年次制研修実施計画に基づき、本会主管による年次制研修を実施した。

- ・日時 = 平成20年10月25日(土) 午後1時～午後6時30分
- ・会場 = NTT東日本研修センター
- ・修了者 = 199名

10 PLOM

スーパーネットへ掲載された政府系金融機関の再編に関する資料、ヤミ金に関する資料、本人確認に関する資料に関し、整理してリンク付けを行った。

V 広報部門

1 司法書士総合相談センター

(1) 常設法律相談

① 東京司法書士会総合相談センター

- 司法書士会館1階相談ブースにおいて、裁判事務・クレサラ・成年後見・不動産登記・商業登記等についての常設法律相談を日曜・祝日を除く月曜日から土曜日までの毎日、面談による相談を実施した。
- インターネットによるメール相談やフリーダイヤルを利用した電話相談を実施した。
- クレジット・サラ金業者から訴えられた方、及び「多重債務改善プログラム」に基づいて「東京都消費生活センター」等の公的機関を経由した相談者を対象とした、当番司法書士による面談相談を実施した。
- また、当番司法書士制度について、都バスステッカーによる広告、及び絆創膏を使った広告グッズを作成し広報に務めた。
- 電話による相談に対応するため、無料電話相談「司法書士ホットライン」を新設した。
- 「司法書士総合相談センター運営責任者会議」を開催し、相談センターの運営上の問題点及びその改善策についての意見交換を行い、運営責任者マニュアル及び相談担当者マニュアルの改訂について検討した。

② 東京司法書士会三多摩総合相談センター

- 毎週水曜日・木曜日に、訴訟・成年後見・登記・クレサラ等多重債務・その他について、面談による相談を実施した
- 電話による相談に対応するため、無料電話相談「司法書士ホットライン」を新設した。
- JR立川駅周辺を走行するバス車内に、三多摩総合相談センターの広告を掲出した。

③ 東京司法書士会墨田総合相談センター

- 毎週月曜日・火曜日に、訴訟・クレサラ等多重債務の、毎週水曜日は、登記・その他について、面談による相談を実施した
- 平成20年4月から9月までの平日の昼間、「墨田多重債務特別相談会」を実施した

- ④ 司法書士総合相談センターの相談員名簿登載者の必修研修「相談員の心構え、倫理、相談スキル」については、本年度は、ビデオ研修を行った。
- ⑤ 相談員研修として、「交通事故」「簡裁代理権の実務」の本研修、ビデオ研修を行った。また、110番相談会事前研修として、「敷金・賃貸・明け渡しトラブル」「離婚に基づく慰謝料・養育費問題」「成年後見」「労働問題」「生活保護」「ヤミ金・クレサラ」の本研修、ビデオ研修を行った。
- ⑥ 相談員のコミュニケーションスキル向上について、より効果的な研修を各支部等で開催することを支援するため、主に各支部相談担当者を対象に、相談員研修講師養成研修会（伝達講習）を実施した。

(2) 無料法律相談会

- ① 東京都貸金業対策室の要請を受け、同室内の相談ブースにおいて、本年もクレジット・サラ金被害を主とする法律相談を、毎週2回平日の午後において実施した。
- ② 東京都及び同特別区が推進する救助事業に協力するため、社会福祉法人と法律相談委託契約を締結し、路上生活者緊急一時保護センター「江戸川寮」（平成21年3月分は「江東寮」）において法律相談を行った。
- ③ 東京都特別区・人事厚生組合社会福祉事業団と法律相談委託契約を締結し、同事業団が運営する23区内の施設に収容されている都民に対し、法律相談を行った。
- ④ 上記特殊事例相談事業に協力する相談員に対し、相談事例の検討と研修をするため、毎月1回救援法律相談対策委員会を開催した。
- ⑤ 救援法律相談対策委員会内に記録編纂会議を設け、相談事例の分析及び集計を行った（その結果について60頁参照）。
- ⑥ 労働問題、生活保護、クレサラ等の社会問題となっているトラブルについて、また、消費者金融の破綻等に対応した電話110番を実施した。
 - [第1回] アエル倒産対応 110番
 - 開催日 平成20年4月1日（火）から5日（土）まで
 - 相談件数 8件
 - [第2回] 敷金・賃貸・明け渡しトラブル 110番
 - 開催日 平成20年4月27日（日）
 - 相談件数 39件
 - [第3回] 離婚に伴う慰謝料・養育費問題 110番
 - 開催日 平成20年8月23日（土）
 - 相談件数 38件
 - [第4回] 成年後見 110番（社団法人 成年後見センター・リーガルサポート東京支部との共催）
 - 開催日 平成20年9月15日（月・祝）
 - 相談件数 149件
 - [臨時] 三和ファイナンス破産申立て！緊急 110番
 - 開催日 平成20年9月16日（火）から19日（金）まで
 - 相談件数 2件
 - [第5回] 全国一斉労働トラブル 110番（東京青年司法書士協議会との共催）
 - 開催日 平成20年11月22日（土）

- 相談件数 18件
- [第6回] 司法書士困りごと110番「借金・生活保護」
開催日 平成20年12月6日(土)
相談件数 16件(借金9件、生活保護7件)
- [第7回] 敷金・賃貸・明け渡しトラブル 110番
開催日 平成21年3月28日(土)
相談件数 26件

⑦ 「全国司法書士民事法律扶助相談」の実施

司法書士による民事法律扶助を推進することを目的とした、日本司法書士会連合会からの「全国司法書士民事法律扶助相談」の実施協力については、平成21年3月13日(金)及び14日(土)の2日間、契約司法書士事務所において実施した。その結果、23件の相談があり、内5件が扶助申請に至った。

⑧ 「相続登記はお済みですか」月間

日本司法書士会連合会からの「相続登記はお済みですか」月間については、本年度は、ポスター及びチラシを作成し、各司法書士総合相談センターへ相談を誘導する内容の広報に務めた。

(3) 司法書士電話相談センター

日本司法書士会連合会が企画・運営する司法書士電話相談センターと協力し、主として法テラスからの転送による法律相談を行った。

(4) 各支部相談担当者会議

各支部で開催している相談会についてアンケートを実施し、支部相談担当者会議を開催して、各支部の実状を把握するとともに、意見交換を行った。

2 司法書士講座の開設

- 大学生ガイダンスを実施し、現役の学生に対し、司法書士の業務を紹介するとともに、司法書士を志す有望な学生の開拓に努めた。
- 身近な法律問題、クレジット・サラ金問題をめぐるトラブル等を、分かりやすく解説することにより、これらの被害を未然に防止することを目的として、学生向け講座を開催した。
また、各支部へ講師派遣要請の依頼を行うため、日司連企画作成の消費者教育用DVDと講座企画委員会作成のリーフレットを用いた学生向け講座について説明会を開催した。
- 東京経済大学、専修大学、明治大学が実施するインターンシップ(学外研修)に協力し、司法書士を志している学生を受け入れ、司法書士事務所・法務局・裁判所等における業務等の体験などのカリキュラムを実践した。

3 司法書士劇団の上演

- 司法書士劇団「リーガル☆スター」による「ボケてても、好きな人」の上演を杉並支部、豊島支部の協力のもと、他団体の共催、後援も得てそれぞれ実施した。

杉並区公演

- ・日 時 平成20年7月4日(金) 午後6時30分開演
- ・場 所 セシオン杉並ホール
- ・主 催 東京司法書士会杉並支部
- ・共 催 東京司法書士会、有限責任中間法人杉並区成年後見センター
- ・後 援 杉並区、杉並区社会福祉協議会、成年後見センター・リーガルサポート
東京支部

豊島区公演

- ・日 時 平成21年1月8日(木) 午後6時30分開演
- ・場 所 あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)
- ・主 催 東京司法書士会豊島支部、豊島区社会福祉協議会
- ・共 催 東京司法書士会
- ・後 援 豊島区、成年後見センター・リーガルサポート東京支部、東京池袋ロータリークラブ、東京池袋西口ロータリークラブ、東京豊島東ロータリークラブ、東京目白ライオンズクラブ、東京サンシャインライオンズクラブ、東京池袋ライオンズクラブ、東京駒込ライオンズクラブ、東京豊島西ライオンズクラブ、

4 友好諸団体等との協議・交流

- 司法書士・弁護士・弁理士・公認会計士・税理士・不動産鑑定士・行政書士・社会保険労務士・土地家屋調査士・中小企業診断士の十士業による「暮らしと事業のよろず相談会」に参加し、市民に対するワンストップ・サービスの総合相談を実施することで、制度広報を行うとともに、各士業の協調協力関係を築いた。
- 日本司法支援センター東京支部と法律扶助事業についての協議及び意見交換等を行った。
- 東京三弁護士会との協議会を行い、共通する綱紀問題等を協議及び意見交換を行った。
- 東京公証人会・東京土地家屋調査士会との三者懇談会を開催し、協議及び意見交換を行った。
- 東京税理士会との協議会を行い、事業承継法制あるいは犯罪収益移転防止法等について協議及び意見交換を行った。
- 足立区、葛飾区、墨田区で行った災害復興模擬訓練への当該支部による参加を支援した。
- 災害復興まちづくり支援機構の構成団体として、運営委員会、研究活動、模擬訓練等の活動に参加した。

5 広報活動の推進

- 東京司法書士会の会館が四谷にあること知らせるため、JR「四谷駅」ホーム階段上に看板設置を継続。また、東京司法書士会総合相談センターの相談事業を広報するため、JR「錦糸町駅」改札内通路に、墨田相談センターの看板を設置。
- 「リーガル☆スター」の演目の脚本をベースに法律解説を加え、司法書士の仕事を紹介した「司法書士がズバリ解決！ドラマでわかる身近なお金のトラブル」をインデックス・コミュニケーションズ社より発刊した。全国書店で販売するとともに市区町村、教育機関、法テラス、社会福祉協議会、商工会議所、雑誌・新聞社へ寄贈した。出版社の努力により全国各地の図書館へ納入され、日本図書館協会選定図書に選定された。
- 各自治体や消費生活センター等の市民相談担当職員向けに、司法書士業務の内容を、具体的に例示したパンフレットを配布し、相談に訪れた市民が、司法書士会総合相談センターを利用することへの広報活動を行った。
- 東京司法書士会と司法書士制度を市民に広報するために設置したホームページ運営委員会を中心に、外部向けホームページのコンテンツの更新を行った。
- 市民公開講座を三多摩支会との共催により下記のとおり開催した。
 - ・テ マ 「魂～心豊かに生きるために～」
 - ・日 時 平成21年3月4日(水) 午後7時開演
 - ・場 所 立川市市民会館(アミューたちかわ)大ホール
 - ・講 師 宇津木 妙子 氏(元シドニー・アテネオリンピック女子ソフトボール)

日本代表監督、ルネサス高崎女子ソフトボール部総監督、第4期文部科学省中央教育審議会委員ほか)

- ・主 催 東京司法書士会三多摩支会
- ・共 催 東京司法書士会
- ・後 援 東京司法書士会政治連盟、東京公共嘱託登記司法書士協会、東京司法書士協同組合、成年後見センター・リーガルサポート東京支部、東京青年司法書士協議会、立川商工会議所、立川青年会議所

6 支部等の広報企画への支援

- 支部ブロック・三多摩支会が実施する、街頭無料相談会の開催を支援した。
- 各支部が、区役所・市役所・公共施設等で実施する無料法律相談等について、多くの市民が相談に訪れる等、特に顕著な活動を行なった支部を支援した。

7 対外広報誌の発行

- 本会制度広報誌「司法の窓 ファーロ」を夏号・冬号・春号という季刊誌として年三回発行した。本年度は、「一人で悩まず、ご相談下さい」「騙される!?あなたを狙う“甘い言葉”」「裁判せずに紛争解決!ADR登場!」を特集し、司法書士会の無料法律相談に対する取組、悪質商法への対処、ADRと当会調停センターについて、それぞれ情報発信を行った。

VI 福利厚生部門

1 健康管理

- 会員とその家族・補助者を対象に、集団健康診断を実施した。

受診日 会場：司法書士会館

平成20年	9月20日(土)	受診者：102名	(会員44名)	会員家族	1名	補助者	57名
	9月27日(土)	受診者：87名	(会員17名)	会員家族	11名	補助者	59名
	10月10日(金)	受診者：82名	(会員29名)	会員家族	0名	補助者	53名
	10月18日(土)	受診者：98名	(会員42名)	会員家族	0名	補助者	56名
	11月8日(土)	受診者：93名	(会員17名)	会員家族	12名	補助者	64名
	11月15日(土)	受診者：112名	(会員51名)	会員家族	5名	補助者	56名
	11月29日(土)	受診者：63名	(会員20名)	会員家族	0名	補助者	43名

会場：西東京市民会館

平成20年9月27日(土)受診者：81名(会員40名 会員家族10名 補助者31名)

実施機関 医療法人「同友会」

実施項目 内科診察等(内科診察、体重・肥満度の身体測定、血圧測定、視力検査、聴力検査、尿検査、腹囲測定、胸部エックス線間接撮影を含む)、胃検診(胃部エックス線間接撮影)心電図検査、血液検査、大腸検査

受診料 本会が一部負担(三多摩支会会員には、同会が一部負担)

- 楠樹記念クリニックが行う「人間ドック」に会員等を斡旋した。

VII その他

① 図書室の運営

多目的ホールとして会議スペースを確保し設備を充実した。

② 裁判事務の支援

- 新たに簡裁代理権を取得した会員や、現に裁判実務を行なっている会員の、裁判事務支援を目的として、会館2階の事務局に隣接して継続設置している判例検索ブースにおいて情報提供をした。
 - 本人訴訟支援研究委員会を組織し、裁判所において司法書士が本人訴訟を支援することについてアンケートの実施を行い、その結果を踏まえて金銭請求事件（クレサラ事件を除く）について本人訴訟を支援するための裁判実務研究会を開催した。また、この研究会の様様をまとめた冊子の発刊を行った。
- ③ 職員研修
新入職員の研修を実施し、その他の職員研修も実施した。